

第64回春季東北地区高等学校野球宮城県大会

準々決勝		石巻市民球場	1 時間 42 分			打安点盗犠四三残失併
東	北	2 0 0 0 0 0	0 0 0		2	【東】 29 4 2 1 1 4 10 5 0 0
柴	田	0 0 0 0 0 0	0 0 0		0	【柴】 30 4 0 1 0 0 13 3 2 0
(9:09～9:47, 10:14～10:33雨天中断)						
(球)	雁部	(一) 高橋正	(二) 原澤	(三) 手塚		▽本塁打 布施(東)
【東】		葛岡	—	布施		▽三塁打 なし
【柴】		岩佐	—	伊丹		▽二塁打 なし (東)
▽暴投	なし			▽捕逸	なし	小林 (柴)

【評】

ベスト4一番乗りをかけた一戦。先制したのは東北。一番庄司が四球で出塁。盗塁などで一死三塁とすると、三番布施が柴田先発岩佐から右二点本塁打を放ち先制した。追いつきたい柴田は二回裏四番小林が中二塁打で好機をつくるが後続が断たれた。東北先発葛岡は4安打13三振を奪い完封勝利。柴田岩佐も4安打10三振を奪う好投を見せたが、及ばなかった。

準々決勝		石巻市民球場	1 時間 50 分			打安点盗犠四三残失併
古川工業		6 0 0 0 1 0	0 2		9	【古】 34 13 8 4 3 0 3 4 1 0
聖和学園		0 0 0 0 1 0	0 0		1	【聖】 30 6 1 4 1 3 2 9 3 0
(8回コールド)						
(球)	小松	(一) 佐藤正	(二) 佐々木勝	(三) 鈴木渉		▽本塁打 なし
【古】		相澤	—	三浦		▽三塁打 三浦, 浅野目(古)
【聖】		高橋	—	嶋原		▽二塁打 村井, 相澤 (古)
▽暴投	なし			▽捕逸	なし	澤田 (聖)

【評】

ベスト4初進出を狙う聖和学園と18年ぶりのベスト4を狙う古川工業の一戦。初回古川工業の一番三浦が、聖和学園の主戦高橋の初球を捉え、右中間への三塁打で攻撃の口火を切った。二番村井の右翼への犠飛で先制すると、相手のエラーと重盗を絡めて一挙6点を取り試合の主導権を握った。古川工業先発の相澤は、テンポの良い投球で追いつがる聖和打線を1点に抑えた。聖和学園は2回以降立ち直った高橋を援護できず、五回の好機も生かしきれなかったのが悔やまれる。

準々決勝		石巻市民球場	1 時間 51 分			打安点盗犠四三残失併
石巻工業		0 0 0 0 0 0	0 0 0		0	【石】 33 5 0 1 0 1 6 7 1 1
仙台育英		1 0 1 0 0 0	0 0 x		2	【仙】 27 6 2 2 1 2 3 4 1 0
(点灯 : 線審(左)太田(右)太田)						
(球)	菅原幸	(一) 太田	(二) 佐藤圭	(三) 布田		▽本塁打 西巻(仙)
【石】		森	—	阿部太		▽三塁打 なし
【仙】		西巻	—	渡部		▽二塁打 なし (石)
▽暴投	森2(石)			▽捕逸	なし	斎藤 (仙)

【評】

ベスト4進出をかけた第3試合は仙台育英が1回裏、西巻の先頭打者本塁打で先制。3回裏は二死から西巻の強襲安打に暴投を挟んで2番鈴木の前打で2点目。この2点のリードを先発西巻が石巻工打線を5安打に抑え、9年連続のベスト4進出を決めた。石巻工は先発森が育英打線を6安打に抑え好投。特に石巻工3回表の攻撃は一死からの内野安打を含めた3連打での満塁の好機を生かしきれず12年ぶりのベスト4進出はならなかった。

準々決勝		石巻市民球場	1 時間 47 分			打安点盗犠四三残失併
富谷		0 1 0 1 0 0	0 0 0		2	【富】 35 10 2 0 2 1 2 9 3 0
東陵		2 0 0 0 1 0	0 1 x		4	【東】 32 10 4 0 4 1 2 9 2 0
(点灯 : 線審(左)太田(右)太田)						
(球)	高橋弥	(一) 石川	(二) 山館	(三) 菅原久		▽本塁打 なし
【富】		伊藤・大西	—	小熊		▽三塁打 熱海(東)
【東】		熱海	—	三谷		▽二塁打 矢萩 (富)
▽暴投	なし			▽捕逸	なし	なし (東)

【評】

試合開始と同時に点灯試合となった第4試合は、接戦をものにした東陵がベスト4最後の椅子をつかみ取った。先制したのは東陵。1回裏一死一三塁のチャンスを作ると、適時打と犠飛で2点を挙げる。対する富谷は直後の2回表に2安打を絡め1点、4回表には3安打を放ち同点に追いつく。5回裏、東陵は一死二三塁から5番角田の右前打で勝ち越すと、8回裏に1点を追加して試合を決めた。東陵先発の熱海は要所を締める投球で完投。2年連続のベスト4進出に大きく貢献した。敗れた富谷は創部以来初のベスト4進出はならなかったが、相手と同じ10安打を放ち互角の戦いを見せた。